

令和８年度 第１回 昭島市行財政運営審議会 議 事 要 旨

〔日 時〕 令和８年５月２６日（火） 午後６時

〔場 所〕 昭島市役所 ３階 庁議室

〔出席者〕

１ 委員

田中啓之会長、山口敬子副会長、安保満委員、佐々木啓雄委員、佐藤之崇委員、高橋靖和委員、若林とき子委員

２ 事務局

池谷企画部長、女屋行政経営担当課長、中村企画調整担当係長、高橋窓口改革推進担当係長

３ 傍聴者

なし

〔配付資料〕

- ・ 第１回昭島市行財政運営審議会 日程
- ・ 参考資料１ 昭島市行財政運営審議会条例
- ・ 参考資料２ 昭島市行財政運営審議会委員名簿
- ・ 資料１ 諮問文
- ・ 資料２－１ 昭島市行財政運営審議会の所掌事項の見直しについて
- ・ 資料２－２ 昭島市行財政運営審議会の今後の進め方について
- ・ 資料３－１ 昭島市の財政（令和６年度決算）
- ・ 資料３－２ 総合基本計画と中期行財政運営計画について
- ・ 資料３－３ 昭島市中期行財政運営計画（概要）
- ・ 資料４－１ 昭島市中期行財政運営計画の策定にあたって（提言）
- ・ 資料４－２ 中期行財政運営計画（令和４年度～令和８年度）における取組の達成状況

〔議事要旨〕

１ 委嘱状交付

各委員に委嘱状が交付された。委嘱状交付後、各委員及び事務局職員の紹介が行われた。

２ 会長、副会長の選任

委員の互選により、会長に田中委員、副会長に山口委員が選出された。

３ 諮問

「１ 社会経済情勢の変化に対応した行財政運営の推進について（中期行財政運営計画の見直しについて）」及び「２ 中期行財政運営計画の推進に係る評価・検証について」が諮問され

た。

4 今後の進め方について

事務局より、資料2-1に基づき行財政運営審議会の所掌事項の見直しについて説明。

事務局より、資料2-2に基づき会議の公開、会議録（議事要旨）の作成及び公表、パブリックコメントの実施、今後のスケジュールについて説明。

〈質疑応答〉 ◆は委員、○は事務局の発言要旨

◆ 資料2-1について、令和9年度に令和7年度と令和8年度の評価を行うとあるが、現行計画と次期計画のどちらに基づいて評価を行うのか。（田中会長）

○ 令和4年度から令和8年度までの計画期間である現行計画に基づいた取組となっているため、そちらの視点で評価いただきたい。（事務局）

5 昭島市の現状について

事務局より、資料3-1、3-2及び3-3に基づき説明。

〈質疑応答〉

◆ 昭島市の財政事情は良好であると自信をもって言える状態なのか。昭島市民は恵まれた環境で、昭島市はいい街であるという宣言ができる状態なのか。（高橋委員）

○ 行財政運営に関しては、これまでは「返す以上に借りない」を基本方針として、令和5年度ごろまでは基金の醸成と市債の削減に努めてきた。この方針をもとに、議会や市民団体からの提言も受け、様々なまちづくりの施策を展開してきた。しかし令和5年以降、物価高騰や地球温暖化による気候変動等が激しさを増し、感染症の影響もあり、いわゆるデジタルの力を利用した市民生活へのアクセスが非常にクローズアップされるようになった。昭島市が今一番まちづくりの中で力を入れるべきなのはまさしくそこ。また、公共施設の整理等も財源確保の観点から必要になる。しっかりと財源を確保しながら、「返す以上に借りない」という基金に重きを置いた行財政運営だけではなく、今後は市債の活用も検討に入れていく。将来世代のため、将来残るものについては市民の皆様に負担をしていただきながら、今後のまちづくりを進めていかなくてはいけない。昭島市民は幸せかと言えば、昭島市の行財政はかなりしっかりしている。しっかりと財政を堅持しながら、時代にあったまちづくりをしていくのが市の使命である。（事務局）

◆ 昭島駅北側の開発による税収の増加等は見込んでいるのか。（高橋委員）

○ 行財政運営計画の大元の計画である総合基本計画の後期計画が、令和9年度から13年度の期間であり、昭島駅北側の開発を無視した計画にはならない。そこを視野に入れながら、人口動態や市税の動向をしっかりと捉えた行政運営をしていく必要がある。（事務局）

◆ 昭島駅北側など再開発している地域は人口が増加しているが、昔からの地域は人口が減少しているなど、地域差があることで、それが課題となっているのか。（田中会長）

○ そのとおりである。（事務局）

◆ 財政的に、人口をどこまで増やすかという目標はあるのか。(高橋委員)

○ 人口減少社会の中にあるが、昭島市は現在、人口が増加傾向にある。人口推計によれば、あと5年間は人口が増え、いわゆる転入超過が続く見込みである。昭島市の財政的なポテンシャルの面から言えば、人口がひたすら増えればいいということではない。子育ての面では、保育所など子育て施設の問題が出てくる。そこをどう担保していくかを考えると、やみくもに人口が増えればいいということではない。今後10年間の人口推計値は、現在後期計画の中で作成中であり今後お示ししていく。(事務局)

6 次期計画の策定にあたって

事務局より、資料4-1及び4-2に基づき説明。

〈質疑応答〉

◆ 資料4-1の提言は、行財政改革推進会議からの申し送りのような形で、これを参考にして本審議会で議論を行い、資料を作成するという理解でいいか。(田中会長)

○ ご指摘の通り、現在、上位計画である総合基本計画の後期計画の策定作業が並行して行われているため、そちらの考え方や行財政改革推進会議からの提言も踏まえた上で、次回以降その基本方針などをお示したい。(事務局)

7 その他

次回審議会の日程を以下のとおり説明し閉会とした。

- ・第2回行財政運営審議会…令和8年7月15日(水)午後6時～庁議室